

お薬手帳は患者さんが安全かつ有効な薬物治療を受けるために非常に有用です。今回、お薬手帳の上手な活用方法について説明させていただきます。

お薬手帳とは、自分が服用しているお薬の名前、用法・用量、処方した病院・診療所や調剤した薬局、処方日などを記載するための手帳です。また、薬による副作用歴やアレルギー歴、一般用医薬品・健康食品、病気の既往歴などを記載できるようになっていています。医師、看護師、薬剤師などの医療従事者にお薬手帳を見せることにより、これまでの治療に関わる情報を正確に伝えることができるため、お薬手帳は患者さんと病院・診療所、薬局を結ぶ架け橋のような役割を果たします。

お薬手帳を活用することにより、現在服用している処方薬、過去に服用した処方薬の情報を確認することができ、薬の重複や飲み合わせの悪い薬、一般用医薬品・健康食品の組み合わせを避けることができます。また、薬によるアレルギーや副作用を避けられます。さらに、は

## お薬手帳の上手な活用方法

### お薬手帳の上手な使い方

- お薬手帳は病院ごとや薬局ごとに別々に作らず、必ず1冊に記録しましょう
- 医療機関にかかるとき、出かける際は常に携帯しましょう
- 薬によるアレルギーや副作用、何か変化を経験した場合はその内容を記載しましょう。記載が難しい場合は医療従事者に記載をお願いしましょう
- 一般用医薬品・健康食品の内容も記録しましょう
- 医療従事者から聞いたことや医療従事者に伝えたいことなどを書きましょう

めての医療機関を受診する時や緊急時、特に災害にあった時により安全な治療を受けられるなどのメリットがあります。これらのメリットを得るためのお薬手帳の上手な活用方法として左に記載します。

くすりと健康のはなし

# 薬包紙

第121回

副会長

鈴木昭夫

一般社団法人岐阜県薬剤師会

